福井県立美術館 2023

美術館だより

MUSEUM NEWS Vol.175

contents

〈展覧会紹介〉　特別企画展「北原照久“お宝”大コレクション展」 [2～3]
〈展覧会紹介〉　特別企画展「パリに行きたい！」 [4～5]
〈イベント報告〉特別企画展「冨田溪仙～越前の紙漉きを描く～」 [6～7]
〈イベント報告〉コレクション展「ちいさい おおきい」 [8]
美術館喫茶室ニホ特別メニューのお知らせ
休館日のお知らせ

表紙：「北原照久“お宝”大コレクション展」展示風景より

北原照久 OTAKARA BIG COLLECTION “お宝”大コレクション展

北原照久
OTAKARA BIG COLLECTION
“お宝”大コレクション展

2023
7.14(金)
▼
8.31(木)
※会期中無休

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【観覧料】一般1,200円（前売り・団体1,000円）、ペアチケット1,800円（前売りのみ）、高校生800円（団体600円）、小・中学生500円（団体400円）
※団体は20名以上。※学生の方は学生証の提示が必要です。※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額。
※未就学児は無料。※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。
【主催】北原照久“お宝”大コレクション展実行委員会（福井県立美術館、福井テレビ）
【後援】福井新聞社　【企画協力】トーイズ　©トイズプランニング

人気鑑定バラエティ番組のレギュラー鑑定士として広く知られるコレクター・北原照久。彼の審美眼で選ばれた貴重で懐かしいブリキのおもちゃ、ミニチュアジオラマ、モーションディスプレイから現代アートまでを一堂に披露します。

藤子不二雄、赤塚不二夫ら著名漫画家達が集ったトキワ荘の寄せ描きカーテン、横尾忠則が描いた状況劇場のポスター、ビートルズや松田聖子など人気アーティストのレコードジャケット、'50～60年代の若者を魅了したジュークボックスやアメ車サンダーバード（実車）、映画「スターウォーズ」で実際に使用されたマスク等、多岐にわたるジャンルの北原コレクションを過去最大規模で紹介！その魅力に迫ります。

キュレーション：西村直樹（福井県立美術館）

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

①《ダイヤモンドプラネットロボット》1950年代　②モーションディスプレイ《DRUM》1952年　③荒木博志《ASTRO BOY》1997年　④ジュークボックス 1950年代
⑤山本高樹《有楽町ガード下パラダイス》2003年　⑥《フォード・サンダーバード》1956年　⑦《トキワ荘寄せ描きカーテン》1956年　©トイズプランニング

関連イベント

●「見どころ解説会」
会期中土曜日 午前10時30分～約20分
講師／西村直樹（福井県立美術館副館長（学芸））
〈当館講堂〉参加無料 事前申込不要
（当日直接会場へ／先着40名）
※8月5日（土）は講演会準備等のため、開催されません。
※上記開催日以外にも追加開催する場合があります。
※詳細はHPをご覧ください。

●「講演会『コレクションの愉（たの）しみ』」
8月6日（日） 午後2時～午後3時30分
講師／北原照久氏
〈当館講堂〉参加無料（展覧会観覧券の提示が必要です）
事前申込不要（当日直接会場へ／先着80名）
※8月6日（日）午前9時から当館エントランスロビーにて
整理券を配布します（予定枚数に達し次第、配布を終了します）。

●「学芸員トークサロン『北原照久氏のコレクション』」
7月23日（日） 午後6時～午後7時
講師／西村直樹（福井県立美術館副館長（学芸））
〈美術館喫茶室ニホ〉
参加無料（お飲み物をご注文ください）
申込／HPまで（先着10名）

※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。　※その他の関連イベント等については、HPをご覧ください。

ポール・シニャック《パリ、ポン＝ヌフ》（部分）1931年、ひろしま美術館蔵

パリに行きたい！

Bonjour!

モネ、ミュシャ、シニャック、ユトリロ、フジタ！

2023 ※会期中無休

9.15（金）

↓

10.15（日）

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）※9月15日（金）は午前10時から
【観覧料】一般・大学生1300円／高校生900円／中小生600円　【主催】福井県立美術館

＊20名以上の団体は2割引　＊学生の方は学生証の提示が必要です。　＊障がい者手帳等をお持ちの方とその介助者1名は半額
＊他の割引との併用不可　＊本展チケットで同時開催のコレクション展「絵のなかのパラダイス／西洋版画展」もご観覧いただけます。
＊ご来館の際は、最新の開館状況および注意事項を当館ホームページにてご確認ください。

Bonjour!

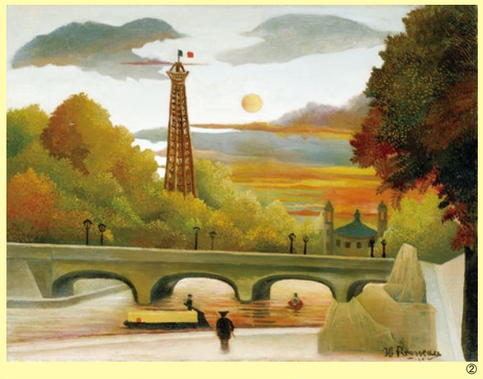
もっとも刺激に満ちあふれた19～20世紀初頭のパリは、セーヌ県知事オスマンによる都市の大改造、さらに産業革命によるインフラの整備、テクノロジーの発展などによりメガ近代都市へと変貌を遂げます。

花の都と讃えられるパリは、多くの芸術家が才能を開花させた街でもあり、今もなお、芸術都市として世界中の人々を魅了し続けています。

モネ、ミュシャ、シニャック、ユトリロに加え、エコール・ド・パリの代表的な画家であるモディリアーニ、ローランサンや藤田嗣治など多くの作家の絵画・版画・写真・工芸品を通して、パリにまつわる多様な作品をお楽しみください。

企画者：西川奈津美（福井県立美術館）

①


②

③

④

⑤

⑥

⑦

①ポール・シニャック
《パリ、ポン＝ヌフ》1931年
ひろしま美術館蔵

②アンリ・ルソー
《エッフェル塔とトロカデロ宮殿の眺望》
1896-1898年
ポーラ美術館蔵

③アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《座る女道化師（シャ＝ユ＝カオ嬢）》『版画集「彼女たち」』1896年
富山県美術館蔵

④クロード・モネ
《睡蓮》1907年
和泉市久保惣記念美術館蔵

⑤マリー・ローランサン
《ブルドッグを抱いた女》1914年
群馬県立近代美術館蔵

⑥アメデオ・モディリアーニ
《青いブラウスの婦人像》1910年頃
ひろしま美術館蔵

⑦アルフォンス・ミュシャ
《モナコ・モンテ＝カルロ》1897年
堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市）蔵

《関連イベント》

◉ホリラボ出張 ワークショップ in美術館

「私だけのエッフェル塔をつくろう！」
福井県内で6店舗展開している文具店「ホリタ文具」が行っているアートと知育の学びの教室「ホリラボ」が県立美術館とコラボレーション！色んな素材を使ってエッフェル塔をモチーフにコラージュ作品を作ります。

9月23日（土・祝）、10月9日（月・祝）
各日10:30～12:00、13:00～15:30
［申込不要、観覧券必要］（※各日先着30名）
【会場】美術館ギャラリー　【協力】株式会社ホリタ
【体験料】300円（税込）（会場にてお支払いください）

◉見どころ解説会

9月24日(日)、10月7日(土) 各回14:00～
［申込不要、観覧券必要］（※先着30名）
【講師】展覧会担当学芸員（西川奈津美）　【会場】美術館展示室

◉記念講演会
「私もパリに行きたい！～パリ美術散歩～」

10月8日(日) 14:00～15:30
【講師】古谷可由氏（ひろしま美術館 学芸部長）
［申込不要、参加無料、観覧券必要］（※先着40名）
【会場】美術館講堂

◉美術館喫茶室ニホ 学芸員トークサロン

10月14日(土) 17:30～18:30
［申込必要、観覧券不要］（※先着20名）
【会場】美術館喫茶室ニホ　【会費】無料（お飲み物をご注文ください）
【申込】福井県文化課（Tel：0776-20-0580、
E-mail：bunka@pref.fukui.lg.jp）
または美術館喫茶室ニホ（Tel：0776-43-0310）

イベント情報の詳細はコチラまで→

《イベント報告》

とみたけいせん

冨田溪仙

TOMITA KEISEN

越前の紙漉きを描く

2023 ※会期中無休

5/12(金) ↓ 6/11(日)

【主催】福井県立美術館
【後援】越前市教育委員会、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ、月刊URALA
【特別協力】福井県和紙工業協同組合

冨田溪仙《風神雷神》
左隻（部分）昭和4年（1929）頃
滋賀県立美術館蔵

越前和紙の特性に早くから着目し、日本画の世界にその魅力を広めることに一石を投じた冨田溪仙（1879～1936）と紙漉き職人・岩野平三郎（1878～1960）との交流を読み解く展覧会を開催しました。

京都画壇出身でありながら、再興日本美術院にも所属した「異色の画家」溪仙は、東西画家に越前和紙を広報し、更に実際に越前の地を訪れた経験をもとに複数の「紙漉き」を題材とした作品を描きました。

大正天皇・皇后陛下大婚二十五周年祝賀のための献上絵巻に「越前の紙漉き」にて参加したことを契機とした一連の「紙漉き」作品群。当館所蔵の《越前紙漉》は献上絵巻の作品（現在は写真でのみ確認※）に類似しており、作品群の中でも初期作に位置付けられることが今回判明しました。そして、再興第15回院展出品《紙漉き》（東京国立近代美術館蔵）までの作風変遷を写生画帖や下絵と共に展示。紙漉き行程のみならず、人々の生活の様子や紙の原料となる草木までをも緻密に取材した写生からは、越前の地から感じた郷愁をも表現しようという溪仙の制作との向き合い方をうかがい知ることができました。

展示を通して現地取材に主体を置いた作品から、溪仙特有の詩情あふれる芸術性によって対象を捉えなおし、展覧会出品作として昇華した変遷をご覧いただき、労働の中に美を見出した溪仙の代表作を顕彰しました。

また、開催にあたり越前市を中心とした県民のみなさまから多数の情報が寄せられ、新出の書簡が発見され、溪仙と越前の土地との繋がりを再確認することができました。

展覧会ではこの他に、越前和紙を愛し、好みの紙の注文、開発を行った近代日本画家らの作品を紹介し、近代日本画の視点から越前和紙の広がりを読み解くとともに、実際に使用されていた越前和紙製作道具（重要有形民俗文化財）を展示。今も現地に息づく和紙の奥深さをご紹介しました。

更に会期中、紙漉き体験ワークショップや岩野平三郎製紙所 代表取締役社長（四代目）の岩野麻貴子氏のトークセッションを通して、現場の生の紙漉きを知ることができました。

※現代絵巻全四巻のうち冨田溪仙「越前の紙漉」東京美術学校文庫編『大婚二十五年奉祝献品図録』（東京美術学校文庫、昭和4年）。岩野平三郎文庫。

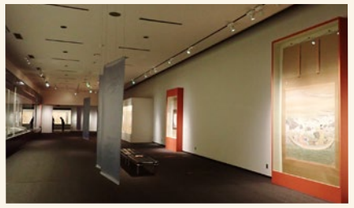
《関連イベント》

◉紙漉き体験ワークショップ

［日　　時］5月13日(土)、14日(日)
各日10:30～12:00、13:00～15:30
［講　　師］RYOZO　柳瀬良三製紙所
協力／福井県和紙工業協同組合
［参加人数］計21人

◉見どころ解説会

［日　　時］5月20日(土)、27日(土)、6月10日(土)
各回14:00～
［参加人数］計50人



※展示室のようす

冨田溪仙《紙漉き》
右隻（部分）昭和3年（1928）
東京国立近代美術館

◉美術館喫茶室ニホ 学芸員トークサロン

［日　　時］5月21日(日) 18:00～19:00
［講　　師］担当学芸員
［参加人数］14人

◉岩野平三郎製紙所 代表取締役社長 岩野麻貴子氏トークセッション

［日　　時］6月3日(土) 14:00～15:30
［講　　師］岩野麻貴子氏（岩野平三郎製紙所 代表取締役社長、伝統工芸士）
［参加人数］30人

◉ナイトミュージアム コンサート

［日　　時］6月3日(土) 18:00～20:00
［演 奏 者］東 園 氏（ソプラノ歌手）
［参加人数］17人

◉豆本工房わかい 豆本＆和綴じノート ワークショップ

［日　　時］6月4日(日) 1日2回開催
［講　　師］豆本工房わかい
［参加人数］11人

◉「はじめてのかがやき～北陸新幹線福井・敦賀開業1年前記念ドラマ」上映会

会期中通期

《イベント報告》

コレクション展「ちいさい おおきい」

親子鑑賞会

5月20日(土)、27日(土) 午前10時～ 11時

[参加人数] 5月20日：親子8組（大人14人、子ども13人 計28人）
5月27日：親子6組（大人8人、子ども8人 計16人）

紀元前の副葬品から現代美術まで、福井県立美術館の多種多様なコレクションを「ちいさい」「おおきい」という視点で紹介した本展では、乳幼児やそのご家族に美術館でのゆったりした時間を楽しんでいただく「親子鑑賞会」を当館ボランティアスタッフの協力で開催しました。

最初に全員で8mを超える「浮き世」や、和紙の立体「内部―連結' 84」を鑑賞後に自由解散。室町～江戸時代の小さな刀装具の昆虫の飾りや、現存する江戸時代の屏風で最大と目される狩野安信「竹虎図屏風」など、子どもたちはお気に入りの作品を見つけて楽しそうにお話をされていました。

「北原照久 “お宝”コレクション展」の展覧会特別メニュー

「パフェ風 ココアシェイクですが レトロ感どうでしょう。」

年間通して人気メニューのココアをパフェ仕立てのシェイクにアレンジ。そのままパフェのようにも、シェイクのように混ぜても、お好みでお楽しみください。

美術館喫茶室 二ホ

[営業時間] 9:00～19:00
[定 休 日] 月曜日 および 美術館休館日
＊Facebook、Instagramにてご案内
[電話番号] 0776-43-0310
＊フリーWi-Fi

Facebook　Instagram

お知らせ

◎2023年8月～11月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※■は休館日です。

8月は休館日なしです!

2023年 8月 August

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月 October

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月 November

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

▲美術館のHPはこちら

美術館だより第175号

編 集／発 行：福井県立美術館　〒910-0017 福井市文京3丁目16-1　tel.0776-25-0452　印 刷：河和田屋印刷株式会社　発行日：令和5年7月31日　23.07.20220